



東福寺神社の神紋

# 東福寺神社だより

第3号 令和3年5月10日発行

発行 東福寺神社

協力 東区観音堂

〈問い合わせ先〉

■上組区の総代 ■中組区の総代

■東区の総代 ■上庭区の総代

## 東福寺の地名の由来を探る

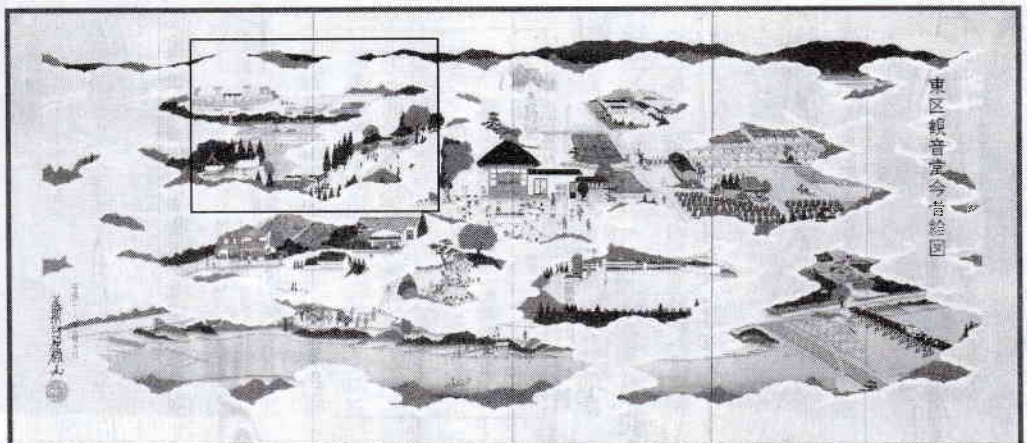


▲一部拡大図

▼全体図

### 『東区観音堂今昔絵図』

ヨコ 170 cm × タテ 80 cmの扁額



『東区観音堂今昔絵図』に画かれている補陀山観音院東福寺と東福寺神社。絵図は観音堂焼失後、新しく奉納されたものだが、縁起や口碑をもとに画かれたものである。(観音堂は、毎月十八日と二十日にお参り拝観できます)

平安  
末期

# 「東福寺という名の 大寺があったから」

東信史学会会長  
黒坂 周平 談

# 天台宗 補陀山観音院東福寺

40年前の篠ノ井東小学校開校十周年記念で、講演に訪れた東信史学会会長の黒坂周平先生（故人）が、当地の地名考として声高に、「東福寺というのは何でできたか」といふと、東福寺というお寺があったからです！

「東福寺という大寺がなければそんな名前がつくわけがありません。ここには大御堂おみどうせきという川もありません。必ず立派なお寺があったことは間違いないありません!!」と、力強く話した。

「大御堂おみどうせきという伽藍がらんは平安時代の終りから鎌倉時代に、全国で大事なところに造られたお堂のことです。当時は阿弥陀様の信仰が盛んで、人は亡くなったら西方浄土へ行くといい信仰が強かった頃です。その頃、大御堂



消失前の東区観音堂

下組に移った観音院は、幾度も消失の憂き目にあった。最後まで残った観音堂も、平成23年、不審火で全焼

という大寺が全国の大事なところになくさんできました。皆さんがよく知っておられるのは、宇治の平等院鳳凰堂や奥州平泉にある金色堂も大御堂です。だから東福寺というお寺はですね、非常に大事な、立派なお寺だったに違いありません。

「東福寺という大寺があったから東福寺という名が、地名として残ったのです。」

黒坂先生の学識経験に裏付けられた考察が、信びよう性の高い地名伝説として心に強く残っています。

## 観音院東福寺が

## あったという事実



▶消失で今は見る事ができない十一面観音菩薩。行基作といわれ「池田宮のモミの枯れ大木を使う。中居組より当堂へ奉りし」と、嘉永の頃の文書に鹿島金五郎が記している。

明治十五年、東福寺村戸長の報告で、この大寺が存在したであろう記述が『長野県町村誌』に記載されています。その記述は、「廃寺跡あり東福寺と称す。応和（九六一年）の頃、天台にして大寺なり。補陀山観音院東福寺と号し、本尊は十一面観音なり。身の丈二尺で行基作。寺院は養和・寿永（一一八二年）頃、義仲長茂而氏の兵火にかかり消滅す。本尊のみ残る。而して後、寛永（一六二四年）の頃、僧・仙岩が本村下組（現東福寺東区）に庵室を建立し、

観世音菩薩を安置する。廃寺跡地は梁田となりし、字大御堂沖（上組北）と云うところなり」（『長野県町村誌』より）

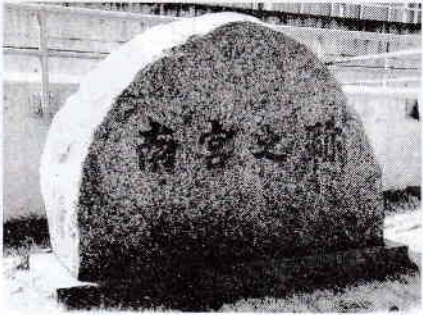
【表紙】に掲載した東区観音堂今昔絵図には、東福寺神社と観音院東福寺が併設して画かれていて、東福寺神社の西方約二〇〇mの地籍にあつてオリソニックスタジアムの前方（上組北）地籍にあたるという口碑をみごとに物語っています。

### 天台宗東福寺の確証

天台宗については、最澄が長野市内にきたかどうかの確証はないが、東国巡錫で御坂峠を越えて、おそらく東山道ルートで、群馬県の緑野寺に行っていることは確実です。最澄の高弟「円仁」は栃木の壬生氏出身で円仁ときわめて親しかった「惠亮」という信濃国水内縣出身の叡山の高僧がいます。

善光寺には円仁が納めたという刻書があり、鉦鼓（密教の法具）が今も伝わっています。

9世紀から10世紀には天台宗が精力的に信濃や東国に進出していることは確かです。善光寺が天台宗であることだけでなく、善光寺の所領だったとされる古野（現在の布野）、小島



Uスタジアム玄関前付近に立つ、南宮の跡を記す碑。南長野運動公園の下に眠る南宮遺跡は、中世の暮らしを教えてくれる。

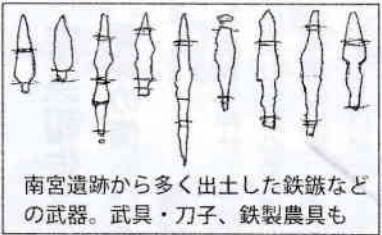
柳原遺跡）からも10世紀の遺構から香盒（密教法具）が出土しています。ここ南宮遺跡から出土した青銅製の火熨斗は、柄香炉であり、鉦鼓や香盒とセットになる密教法具でもあります。

### 鹿島さまの影響

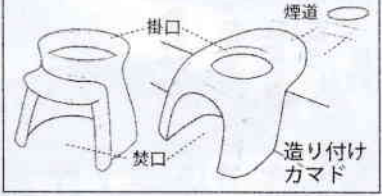
#### 南宮出土品に現われる武器類・長煙道カマド

東福寺神社に合祀されている武甕槌命＝鹿島さまは、どの様にしてこの繋がりがあつたのだろうか。

南宮の出土品にその形跡が読みとれます。多くの竪穴住居跡に、炊事用の長煙道カマドが設けられていたり、鉄製の武器・武具・刃子などが各戸に多く残された形で出土しています。これらは鹿島さまが、作り始めた武士による統治、武家社会の現



南宮遺跡から多く出土した鉄鏃などの武器。武具・刀子、鉄製農具も



東日本では平安時代末までカマドがつく竪穴式建物跡が一般的

南宮遺跡では、地鎮祭祀も行われていたことは明らかで、大伽藍とまではいかずとも草堂の護摩堂のような寺院施設があつたことは必然です。天台宗補陀山観音院東福寺が存在したことの確証は高いものです。

われであり、長煙道カマドの生活様式は、東北のエミシ文化を持ち込んだものと思われます。もう一つは、信濃国に武甕槌神を呼んだものは、出雲の大国主命の子である建御名方神との国譲りの競争で、武甕槌神は建御名方神をねじ伏せて、信濃の諏訪に封じ込めたという神話。軍神として「日本最強の神」といわれた由縁でもあります。

10世紀は武士が出現し平将門の乱に象徴されるように、在地領主を主体とする武士が力を付けてきたことは間違いないありません。以上の点で鹿島信仰の信濃進出は、納得できることです。この進出を予見できる文献が『鹿島神宮古記録』です。

### 鹿島神宮の分社について



県道東福寺田牧線沿いにあった鹿島神社跡地（東区地籍）

鹿島神社の本宮は、言わずと知れた茨城県鹿嶋市にあります。鹿島神宮の御分社は、茨城県内では約四五〇社、隣接する千葉・群馬・栃木・福島各県に約四〇〇社があり、全国では二千余社と記されています。中でも春日大社や塩釜神社は全国にその名を知られている御分社である。（『鹿島神宮古記録』による）

全国二千社の中に、ここ信濃の鹿島社があるかもしれません。江戸時代に入ると、徳川家康の崇敬を受けて、鹿島信仰はさらに全国に発展していったとされています。

令和3年度  
東福寺神社の年中行事

□春の大祭 四月十八日(日)

□風神祭 九月 五日(日)

□秋の大祭 九月十八日(土)  
宵祭り 九月十九日(日)

□末社祭・小祭り 九月二十日(月)

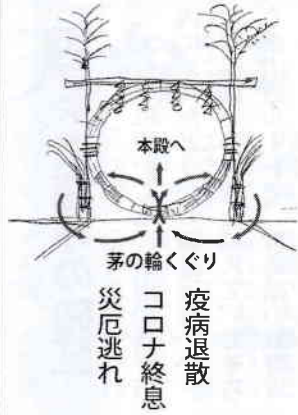
□新嘗祭 十一月十四日(日)

□元目祭 一月 一日(土)

新しい祭事の試み

□夏越しの大祓い 六月晦日〜七月七日

□冬越しの大祓い 十二月二十五日〜三十日

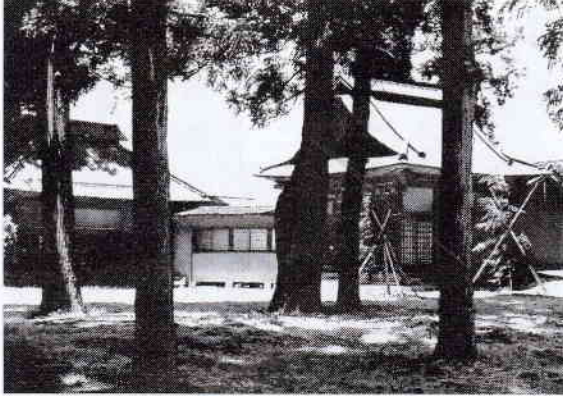


緊急報告

拝殿の傷みひどく

修繕待ったなし

東福寺神社の本殿・拝殿・社務所  
屋根の塗装の劣化がひどい。拝殿は  
40年前に屋根のカラー鋼板で葺き替  
えをして以来のこと。加えて、拝殿  
は軒裏板の腐食破損(数カ所あり)  
で穴があき、鳥やコウモリが侵入し、  
拝殿内部はおびただしい草、ゴミや糞  
で汚れ放題。コウモリの侵入はコロ  
ナウイルス感染症も心配される。  
拝殿木部の修繕と屋根の塗装工事  
は、待ったなしの状況である。  
修繕委員会を設けて、検討中。



神社でハロウィン

昨年10月30日、東部保育園の園児  
たち90名が、自分達で作った衣装で  
仮装して地域を回りながらハロウィン  
を楽しみました。東福寺神社に着  
くと魔法使いに変身した総代の滝澤  
さんと、順番にじゃんけん大会をし  
ました。



木の実やきれいな落ち葉を探すな  
ど自然の中で遊ぶこともでき、「和」  
の神社で「洋」のイベントを楽しむ  
ことができました  
これぞ「和洋折衷」  
です。子どもたち  
への遊び場提供あ  
りがとうございました。  
東部保育園記

“今年も来たよ〜”



創業70年

総合電機工事業 技術と信用の店

株式会社 寺澤電業社

本社 長野市篠ノ井御幣川 1229-3

TEL (026) 292-0620 FAX (026) 293-9772